

高校生 I C T 2016 Conference

in 札幌

「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】

～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

開催報告書

2016年10月16日(日) 11:00-17:00

【会場】内田洋行・札幌ユビキタス協創広場 U-cala

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



2016年11月10日

目 次

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2016 in 札幌 開催概要	4
4. 主担当	12
5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット	13
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	13
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	13

1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2016</p> <p>テーマ：「ネットトラブル! どうする? 【予防】と【対策】 ～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁
後援：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道私立中学高等学校協会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県高等学校 PTA 連合会、新潟県教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟県高等学校 PTA 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、北陸携帯電話販売店協会、静岡県、静岡県教育委員会、静岡県公立高等学校 PTA 連合会、東京都教育委員会、東京都高等学校情報教育研究会、神奈川県教育委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム、高知県教育委員会、高知新聞、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 PTA 連合会</p>
協賛：	<p>グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、エースチャイルド株式会社、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan 株式会社、一般社団法人情報教育研究所</p>
協力： (順不同)	<p>アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、NPO 法人 e-Lunch、株式会社朝日出版社、ストップイットジャパン株式会社</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに追加して 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。2015 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を行いました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的</p>

	<p>側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>開催の概要：</p>	<p>【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
<p>各開催地</p>	<p>募集参加生徒 30 名</p>
<p>募集人員等：</p>	<p>募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
<p>参加参観方法：</p>	<p>参加費・参観無料 [要事前登録]</p>
<p>高校生 ICT Conference2016 実行委員会：</p>	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長） ・ 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） ・ 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） ・ 小城 英子（聖心女子大学） ・ 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所） ・ 他、関係者団体、事業者等

	<p>【事務局】 安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2016 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2016年10月16日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2016年10月15日（土）11:00-17:00	とかちプラザ
	宮城	2016年8月22日（月）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2016年9月19日（月）10:00-17:00	石川県女性センター
	長野	2016年10月1日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2016年8月20日（土）10:00-17:00	ガレソンホール
	東京	2016年9月4日（日）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2016年9月11日（日）10:00-17:00	岩崎学園
	静岡	2016年9月25日（日）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	大阪	2016年8月28日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2016年10月2日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	高知	2016年8月23日（火）9:30-16:30	ちより街テラス
	福岡	2016年8月18日（木）12:30-17:00	アクロス福岡
大分	2016年10月2日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ	
東京サミット	2016年11月3日（木）13:00-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS	
最終報告会	2016年12月中旬頃		

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。（サミット熟議のみ参加）※2015年度実績：沖縄、福井

3. 高校生 ICT Conference 2016 in 札幌 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 70 名の参加者を得て、「ネットトラブル！ どうする？ 【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>主旨説明 羽衣学園高校 米田 謙三 先生 高校生 ICT Conference の意義や目的とあわせて、本日の流れを紹介しました。また、11月3日（木）の東京サミットに送り出す代表校選出の方法についても紹介しました。</p> <p>開会の挨拶 北海道総合通信局情報通信部長 野尻 英行 様 小学生から高校生までスマートフォンの利用が拡大、それに伴い、コミュニティサイトを起因とする事件で、青少年が被害者となる場合が増加しているお話をいただきました。あわせて、総務省の青少年情報リテラシー向上の取り組みを紹介いただきました。</p> <p>第一部 事業者講演 高校生がつなぐ ネット社会の安全安心 エースチャイルド株式会社 代表取締役CEO 西谷 雅史 様 青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律において、青少年のインターネット利用の状況把握、フィルタリングソフトの利用等について保護者や事業者の責任についてお話をいただきました。 また、千葉県柏市教育委員会が非行の抑止を目的に行っている「いじめ監視アプリフリー」を使った実証実験についての説明をいただきました。 是非、高校生が中心となって、ネット社会の安全安心を考えて欲しいと提言をいただきました。</p> <p>「たくさん意見の出る「予防」 あまり意見の出ない「対策」 デジタルアーツ株式会社経営企画部チーフエバンジェリスト 工藤 陽介 様 フィルタリングやネットの危険を学ぶアプリ等の製作とともに、ネットのトラブルから青少年を守る啓発活動等への関わりについてお話をいただきました。 また、今回のテーマについて議論するにあたり、イメージがわくように、動画投稿サイトやワンクリック詐欺の事例の説明をいただき、「予防」を考える時には、自分たちのアイデアを加えて独自性のあるものに、「対策」を考える時は、個々人の経験値は違っても、自分のトラブル経験を赤裸々に語って欲しいこと、全力で議論に取り組むといいアイデアが出てくることについて助言いただきました。</p> <p>参加校 グループ分け、自己紹介</p>
----	---

参加学校ごとに簡単な自己紹介を行いました。

その後、7つにグループに分かれ、自己紹介を行い、少し緊張感も和らぎました。

第二部：グループ熟議「ネットトラブル！どうする？【予防】と【対策】～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～」

グループに分かれ全国消費生活相談員協会北海道支部、(一社) LOCAL、北海道情報大学や事業者の方等がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。高校生たちは、自分の身の回りにあるネットトラブルについて事例をあげて、付箋紙に考えていることを提示するなどして、活発に意見を出し合いました。詐欺と個人情報に絞ったグループ、ネットいじめや出会い系サイトでのトラブルなど、それぞれのグループでテーマを決めて、自分の実体験などをもとに問題点を提示し分析を行っていました。そこから、今回のテーマに基づいて【予防】と【対策】を考え、「高校生だから言える提言」をキーワードに、整理分類して、最後に、グループごとにパソコンを使ってプレゼンテーションソフトでまとめました。各グループのプレゼンもグループ全員で役割を決める方法や、メインプレゼンターを中心に行い他のメンバーがサポートをするなど様々でした。

第三部：グループ発表

・グループ発表（各グループ5分程度）

各グループ5分程度で発表を行いました。

各グループは、模造紙のまとめとプレゼンテーションソフトを上手に活用しながら堂々と発表していました。

その後、引率の先生と各校の生徒代表が集まり、11月3日の東京サミットに行く代表校を選ぶ投票を行いました。

その結果、北海道札幌東豊高等学校が代表校に選ばれました。

(グループ発表概要)

第1班 テーマ「ネットトラブル 詐欺と個人情報」

身近にあるネット上の詐欺と個人情報の問題について話し合いました。

ワンクリック詐欺、LINE詐欺、身代金詐欺について

・【対策】としては、ブラウザが一番の対策と考えて、最終的には大人や消費生活センター、警察に相談など、一人で考え込まない、抱え込まないことが大切で、被害にあった時、落ち着いて被害状況を把握して対策していくのが一番であると考えました。

・【予防】としては、バナー広告を非表示にするアプリや機能を利用することや信頼できるサイトを見つけて利用することがあげられた。

個人情報として、SNSでの写真投稿による個人情報の流出、大手企業からの個人情報の流出を例示。

・【対策】としては、周りの友人や大人に相談するのが良いと考え、早期発見したらすぐに消すことが良いという意見が出た。

・【予防】としては、SNSに場所を特定されるような写真を投稿しないこと、事前に講習に参加してトラブルに関わらないように知識を得ること。Twitterとかにある鍵をかける「非公開設定」をするのが重要だと考えました。

第2班 テーマ「ネットでのトラブル」

自分たちの周りで起きたトラブルのなかでもネット関係の対人関係のトラブル、LINEの既読・未読無視、グループ内でのいじめ、なりすまし、また、Twitterにおける不適切な投稿（写真・動画・犯罪行為）、位置情報による場所の特定について考えました。

・【予防策】としては、クラスのLINEに担任の先生を入れる。自分が投稿する前に内容を考える。全世界の人が見ていることを自覚する。複数のアカウントを作成する。自己中心的に考えず、相手への思いやりの考えを持つなどの意見がでました。

・いざ、トラブルが発生した場合の【対策】については、そもそも、簡単な気持ちで投稿しないこと。親子でセミナーに参加して知識を得る。トラブルになったら冷静になり相手と直接話し合うことや謝ることが必要。信頼できる人（親・先生）に相談する。創造的な意見として高校生目線でアプリをつくるなどの意見も出されました。

第3班 テーマ 「3つのトラブルの対処法」

ワンクリック詐欺、写真によるプライバシー流失、既読スルーから始まるネットいじめについて考えました。

ワンクリック詐欺について。

・【予防】としては、学校で偽ワンクリック URL が載ったメールを一斉送信して、対応を検証する、「インターネット避難訓練」のようなものを行う。また、有料の広告ブロックアプリにより広告を制限する。

・【対策】としては、電源を切る。ブラウザバックする。国民生活センターなどに相談することを考えた。

写真によるプライバシー流失について

・【予防】としては、個人情報の写る場所にモザイクをかけたり、スタンプなどを付けたりする。顔認証で顔にスタンプをつける。講習で教えること。

・【対策】としては、友達に消してもらおうようにすること、それでもだめな場合は、少数でも投稿を消せるようにする。ネット監視&パトロール、現実での注意をする。

既読スルーから始まるネットいじめについて

・【予防】については、厚い信頼関係を築くこと（信頼関係がない人とは深い話はしない）、今寝ているか起きているか（今何をしているのか）マークを義務づけた方がいいと考えました。

・【対策】としては、何故返信できなかったのか経緯をしっかりと説明とすること、スクショなどで証拠写真を撮ることがいいと思う。他にも意地を張らずにきちんと謝ることが大切と考えた。

人と人の通信の間に AI を介することによって、人が言った悪口を柔らかくしつかりとした言葉にするシステムを採用してくれないかなと考えました。
インターネット上には様々なトラブルがあります。そのトラブルひとつひとつに予防と対策があります。それを一人一人が意識して、たまには大人に相談して解決していくのが大事だと思います。

第4班 テーマ「どうする？SNS」～大人の知らない真実～

自分たちの班で一番利用が多かった LINE のなかで、LINE のグループでの発言を全員が無視する。LINE で会話を終わらせるタイミングがわからない。SNS で不適切な写真をアップすることなど、身近にあるネットの問題を話し合った。

・既読無視トラブルの原因を、誰かが答えてくれるだろうと人任せにすることと考え【予防】を人任せにしないこととした。

・会話を終わらせるタイミングについては、返信しにくい文章を送ってくることを原因と考えて、【予防】をスタンプやあいさつで会話を終わらせる。「返さなくていいよ」などと送り会話を終わらせる。事前に頻繁に LINE を見ないことについて相手に伝えておくことがあげられた。

・SNS で不適切な写真をアップすることの原因を不適切な写真をアップすれば人気者になれるという間違った理解があると考え、【予防】として、教育をしっかりとしておくこと。常に誰かに見られているということ意識することがあげられた。

・【対策】実際にトラブルに巻き込まれた場合、全てに共通する対策として「大人に相談したい」のだけれども、実際、大人は高校生の状況やネットに関する何を知らない。大人は頼りにならないと思っている。大人は SNS などに偏見を持っているなど相談しづらい現状を述べ、「大人も SNS を実際に使い体験して知識を深めて欲しい。」「よく知りもせずに無理に解決させないでほしい。」「偏見を持たず時代に合った考え方をしてほしい」など、自分たちの思いを語り、大人と信頼関係を築きたいことについて発表しました。

第5班 テーマ「関係ないは通じない！」～今から話そうネットについて～

ネットいじめと出会い系サイトでのトラブルについて考えました。

ネットいじめの原因を「匿名で利用できる」、「相手の顔が見えない」とした。

・【予防】としては、SNS だけでなく、「実際に会ったり話したりして、現実でのコミュニケーションを深める」こととした。

・【対策】「自分と相手の意見を認める」、「周りの人に相談したり、相談サイトを見る」などの意見がだされた。

出会い系でトラブルになる原因を新しい出会いを求めるにあたり、いちばん手軽に使えるのが出会い系で、知識不足があつて、まったく安全だと思い込んでいることで危険な部分を知らないから使ってしまうと考えた。

・トラブルに巻き込まれないための【予防】としては、「直接会いに行かない」、「周りの人に話す」、「そもそも使わない」があげられました。

・【対策】としては、「相手よりも遅く待ち合わせ場所に行く」、「通報する」の意見が発表された。

・全体としてのまとめでは、本当に投稿していいのか、自分がやられたらどうか考えた上で判断する。自分に関係ないではなく、この会の様に家族や友達と話し合ってみることが必要とまとめました。

第6班 テーマ「りおなさんの炎上物語」

私たちは身近にありそうで、誰にでも起こりうる話題という理由から「炎上」について取り上げてみました。炎上の原因として、アイドルへの投稿を例にあげ、「過剰なその人への想い」、「投稿者への偏見、侮蔑など」、「投稿者が周りを考えていなかった」、「感情的になりすぎた」をあげた。

・【予防・対策】としては、「誰に、なぜ、どのように伝えたいか」を考えて投稿することが大事と考えた。また、相手の気持ちや、どう受け取られるかについて考えながら発信していく必要があると考えました。

第7班 テーマ「伝書鳩とインターネット」～過去を知り未来を語る～

スマホを忘れて駅にずっと取り残された実体験から、スマホに依存していることの重大性を知って、伝書鳩のような古い考え方も必要と考えた。

ネットの現実にあることや問題点、SNSとプライバシーについて考えました。

まず、ネット機能には、既読機能があることからいつまでも返信に縛られる。いつまで待っても返信がない。最後の笑で感情がわからない。「別にいいよ」が肯定可否かわからない等の問題点をあげた。

・【予防】として「否定より先に肯定を!」、「他の選択肢を考える。(スマホがなければ伝書鳩という考え方。）」、「Yes か No しか言わない」、「2択で聞く」、「あまり気にしないこと(メンタル)」をあげた。

・【対策】としては、問題が起きたら「すなおに謝ること」、「反発しないことと素直に聞き入れること」、わからないときは、「本人に直接聞くこと」が必要。

SNSとプライバシーの問題点として、「パスワードが同じで1つばれると全部ばれること」、「SNS上に自分の個人情報を載せること」、「他人に個人情報を流出させられること」をあげた。

・【予防】としては、「自己管理をしっかりする」、「講習をまじめに受ける」、「少人数で話し合い発表する。」等について、まじめに取り組んでいく必要がある。

・【対策】としては、「相談する」、「友達同士で教え合う」など、自分のことだけでなく相手のことについてちゃんと考えられる思考が必要と考える。

・最後に「企業へのお願い」として、「2段階認証の活発化」、「同じパスワードを使えない機能をつける」、「個人情報を必要としないものには、規制をつける」、「個人情報になり得ることを投稿できないようにする」などの提案がありました。

全体講評：北海道大学 重田 勝介 様

	<p>はじめに、「全体的に議論も熱心で、プレゼンもしっかりしていてとても良かったと」お話がありました。</p> <p>本日は、各グループで、テーマについて【予防】と【対策】について話し合ってもらうことによって、「皆さんのお互いの経験を共有化できたこと」、「環境の違う仲間たちが自由に話すことができたこと」、「この場の議論を共有して意見を出し合えたこと」は、素晴らしいことだと述べました。</p> <p>また、自動車の発展過程を例に、新しい技術が発展する課程で色々な対策を考えなければならないことが現実で、そういった流れが非常に早いのがインターネットの世界なのだというお話をいただきました。</p> <p>そして、そのような世界では、誰も正しい答えを知らないし、その場、その場で大人と子供が話し合っていくことが大切で、私たちがこれからインターネットを自由に使っていく上でも大事なことだとお話がありました。</p> <p>今後もこのような機会をつくっていただいて、皆さんの中で議論することを続けてもらいたいと結びました。</p> <p>最後に、米田先生から「今日で終わりではなくて、学校に戻ってぜひこの取組を広げてもらいたい。」と話がありました。</p>
参加校：	北海道札幌東豊高等学校、北海道石狩南高等学校、北海道旭川工業高校、北海道岩見沢農業高等学校、北海道札幌旭丘高等学校、北海道大麻高等学校
日時：	2016年10月16日（日）11:00-17:00
場所：	内田洋行・札幌ユビキタス協創広場 U-cala 北海道札幌市中央区北1条東4丁目1-1 サッポロファクトリー1条館1階
参加人数：	熟議参加生徒 40人 見学者 30人（教員・教育関係者・その他） 合計：70人
熟議グループ：	<p>熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。（敬称略）</p> <p>【第1班】6人 北海道石狩南高等学校 2年 男子 北海道旭川工業高等学校 2年 男子 北海道札幌旭丘高等学校 1年 男子 北海道札幌東豊高等学校 3年 男子 北海道札幌東豊高等学校 1年 女子 北海道大麻高等学校 1年 女子 〔ファシリテーター〕 公益社団法人 全国消費生活相談員協会 山口 博美</p> <p>【第2班】6人 北海道札幌旭丘高等学校 1年 男子 北海道大麻高等学校 1年 女子 北海道旭川工業高等学校 2年 女子 北海道石狩南高等学校 3年 男子</p>

北海道札幌東豊高等学校 1年 男子
北海道札幌東豊高等学校 3年 男子
〔ファシリテーター〕
公益社団法人 全国消費生活相談員協会 伊藤 香

【第3班】6人

北海道札幌旭丘高等学校 2年 女子
北海道旭川工業高等学校 2年 男子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道札幌東豊高等学校 1年 男子
北海道札幌東豊高等学校 2年 女子
北海道石狩南高等学校 2年 男子
〔ファシリテーター〕
一般社団法人 LOCAL 蒲田 拓也

【第4班】7人

北海道札幌旭丘高等学校 1年 男子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道札幌東豊高等学校 2年 女子
北海道札幌東豊高等学校 2年 女子
北海道石狩南高等学校 1年 男子
北海道岩見沢農業高等学校 2年 女子
〔ファシリテーター〕
一般社団法人 LOCAL 八巻 正行

【第5班】5人

北海道札幌旭丘高等学校 2年 男子
北海道大麻高等学校 1年 男子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道札幌東豊高等学校 3年 男子
北海道札幌東豊高等学校 2年 女子
〔ファシリテーター〕
北海道情報大学 高井 那美

【第6班】5人

北海道札幌旭丘高等学校 2年 男子
北海道石狩南高等学校 2年 女子
北海道大麻高等学校 1年 男子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道札幌東豊高等学校 1年 男子

〔ファシリテーター〕
株式会社オキット 當山 達也
〔ファシリテーター補助〕
J K K 永坂 武城

【第7班】5人
北海道石狩南高等学校 2年 女子
北海道岩見沢農業高等学校 2年 男子
北海道大麻高等学校 1年 男子
北海道大麻高等学校 1年 女子
北海道札幌東豊高等学校 3年 女子
〔ファシリテーター〕
エースチャイルド株式会社 西谷 雅史

4. 主担当

大阪私学情報教育化研究会	米田	司会進行
安心ネットづくり促進協議会	白戸 他	事務局、庶務
草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会	工藤	庶務
総務省 北海道総合通信局		現地調整、記録
全国消費生活相談員協会北海道支部	山口、伊藤	ファシリテーター
一般社団法人 LOCAL	八巻、三谷 他	ファシリテーター、庶務
株式会社オキット	當山	ファシリテーター
エースチャイルド株式会社	西谷	講演、ファシリテーター
NPO 法人 NEXTDAY		機材準備等
各地協力団体、事業者、大学等		講演、現地調整、ファシリテーター、他
内田洋行	齋藤、舟根	会場設営、機材準備等

(敬称略)

5. 高校生 ICT Conference 2016 サミット

高校生 ICT Conference 2016 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

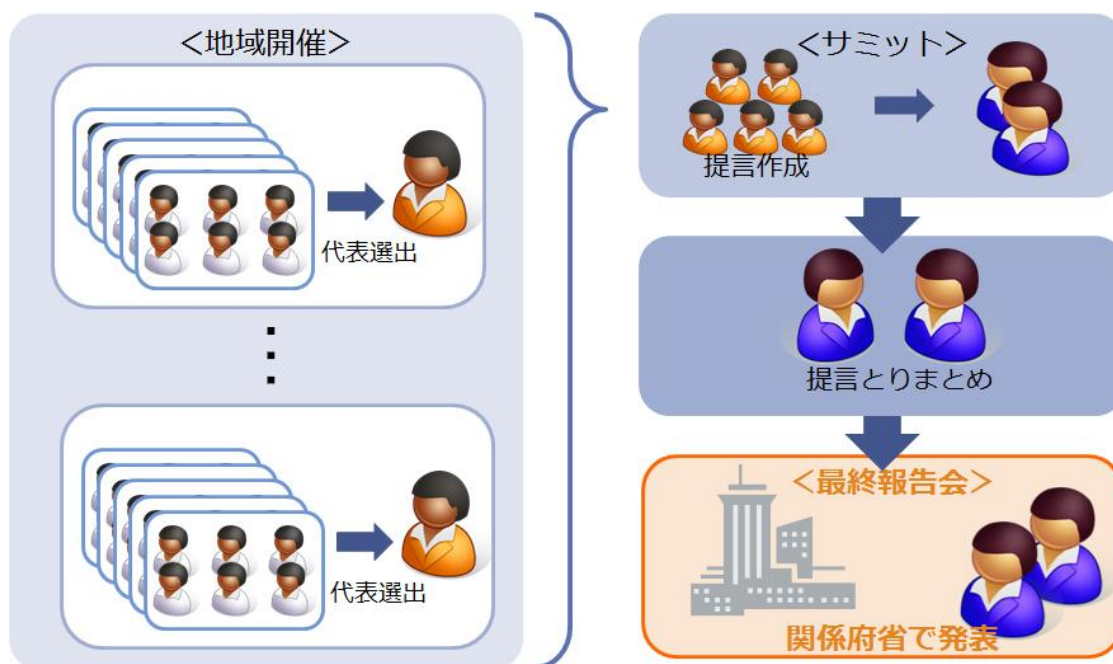
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表（2名）を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

6. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2016 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを踏む。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁



7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2016 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2016 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以 上